

# 市町村の胃・大腸がん検診 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査の状況

山梨県 健康増進課がん対策推進担当

# プロセス指標とは

市町村の行うがん検診の各プロセス（対象者への受診勧奨、スクリーニング、要精検者への精密検査受診勧奨、精密検査の精度、事業評価）が適切に行われているか評価するための指標。

各市町村別のプロセス指標値については、参考資料1を参照。

# 1 胃がん検診 プロセス指標の状況

## 1 R3年度 受診率・受診者数(エックス線＋内視鏡)

- ・ 受診率は、全国平均より高いものの年々低下。
- ・ 受診者数は、R3年度はR2年度と比較して増加したものの、R1年度には及ばない。

## 2 R2年度 精検受診率等(エックス線)

### 【要精検率】

- ・ 許容値より0.3%高い。

### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・ 精検受診率・未受診率ともに県目標値には達しないものの許容値の範囲内。
- ・ 未把握率については許容値を超えている。

### 【がん発見率・陽性反応適中度】

- ・ 許容値より低い<sup>1</sup>が、未把握率が許容値の範囲外であるため、正確な評価が不能。

## <胃がんエックス線検診 各プロセス指標値の年度推移 (国と県の比較)>

(許容値の範囲外は赤字)  
(網掛けは県の調査による速報値)

県目標値 許容値	60.0		11.0 以下		90.0 以上 70.0 以上		5.0 以下 20.0 以下		5.0 以下 10.0 以下		0.11 以上		1.0 以上			
	受診率※1(%)	受診者数	要精検率(%)	精検受診率(%)	未受診率(%)	未把握率(%)	がん発見率(%)	陽性反応適中度(%)	国	県	国	県	国	県		
	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県		
	H29	8.4	13.6	23,793	7.5	9.3	81.8	78.9	7.2	11.6	11.0	9.5	0.12	0.08	1.6	0.8
	H30	8.1	13.0	19,987	7.2	12.2	82.2	83.4	6.9	7.3	10.9	9.4	0.12	0.17	1.7	1.4
	R1	7.8	11.4	19,179	6.9	10.8	80.8	79.9	7.5	9.8	11.7	10.3	0.11	0.08	1.6	0.8
	R2	7.0	10.2	14,165		11.3		79.2		10.4		10.4		0.07		0.7
	R3		10.9	18,439												

※1 受診率はエックス線と内視鏡検査の合計値であり、計数が不詳の市町村を除いた値。

# 1 胃がん検診 プロセス指標の状況（続き）

## 3 R2年度 精検受診率等(内視鏡)

### 【要精検率】

・前年度の全国値より4.9%低いですが、国において許容値が作成されていないため正確な評価が不能。

### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

・精検受診率が県目標値には達せず、未受診率は改善したが、未把握率は依然と高い。

### 【がん発見率】

・前年度の全国値より0.22%低いですが、国において許容値が作成されていないため正確な評価が不能。

### 【陽性反応適中度】

・前年度の全国値より1.2%低いですが、国において許容値が作成されていないため正確な評価が不能。

## <胃がん内視鏡検診 各プロセス指標値の年度推移（国と県の比較）>

（許容値の範囲外は赤字）  
（網掛けは県の調査による速報値）

県目標値 90.0 以上 5.0 以下 5.0 以下  
許容値 胃内視鏡検診の許容値は、現時点で作成されていない。

	要精検率(%)		精検受診率(%)		未受診率(%)		未把握率(%)		がん発見率(%)		陽性反応適中度(%)	
	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県
H29	7.5	2.5	92.0	59.6	1.8	6.1	6.3	34.3	0.28	0.08	3.8	3.0
H30	7.6	2.3	92.9	44.6	1.4	10.8	5.7	44.6	0.28	0.11	3.7	4.8
R1	7.4	2.4	93.9	60.7	1.5	7.7	4.6	31.6	0.29	0.06	3.9	2.6
R2		2.5		67.3		3.9		28.8		0.07		2.7

# 2 大腸がん検診 プロセス指標の状況

## 1 R3年度 受診率・受診者数

- ・受診率は、全国平均より高いものの年々低下。
- ・受診者数は、R3年度はR2年度と比較して増加したものの、R1年度には及ばない。

## 2 R2年度 精検受診率等

### 【要精検率】

- ・許容値より0.9%低く、前年度の全国値より0.4%低い。

### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・精検受診率が県目標値及び許容値に達しない。未把握率については許容値を超えている。

### 【がん発見率・陽性反応適中度】

- ・許容値を下回っているが、精検受診率及び未把握率が許容値の範囲外であるため正確な評価が不能。

## <大腸がん検診 各プロセス指標値の年度推移 (国と県の比較)>

(許容値の範囲外は赤字)  
(網掛けは県の調査による速報値)

県目標値 許容値	60.0 以上		90.0 以上	7.0 以下		70.0 以上	5.0 以下		5.0 以下		0.13 以上		1.9 以上		
	受診率(%)	受診者数		要精検率(%)	精検受診率(%)		未受診率(%)	未把握率(%)	がん発見率(%)	陽性反応適中度(%)					
	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	
	8.4	15.3	51,991	6.5	6.6	70.7	67.4	12.4	15.8	16.9	16.8	0.19	0.14	3.0	2.1
	8.1	14.6	50,343	6.2	5.9	71.4	68.9	12.3	14.4	16.3	16.7	0.20	0.12	3.2	2.1
	7.7	14.3	48,660	6.5	6.1	71.1	68.8	12.1	13.8	16.8	17.4	0.20	0.13	3.1	2.1
	6.5	11.7	39,017		6.1		68.8		11.5		19.8		0.10		1.7
		13.3	44,023												

### 3 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査 プロセス指標の状況

本県においては、肝がんによる死亡率が高く肝炎対策が独自課題となっているため、国の指針外の検診ではあるが、その動向について調査を行っている。

#### 1 R2年度 受診率

- ・ 年々低下しているが、R2年度は大きく減少している。

#### 2 R2年度 精検受診率等

##### 【要精検率】

- ・ 過去4年間でみて、ほぼ横ばい。

##### 【精検受診率・未受診率・未把握率】

- ・ 精検受診率が年々低下。 未受診率は改善している一方、未把握率が上昇している。

##### 【がん発見率】

- ・ 過去4年間でみて、ほぼ横ばい。

##### 【陽性反応適中度】

- ・ 過去4年間でみて、ほぼ横ばい。

#### < 腹部超音波及び肝炎ウイルス検査 各プロセス指標値の年度推移(県) >

	受診率(%)	受診者数	要精検率(%)	精検受診率(%)	未受診率(%)	未把握率(%)	がん発見率(%)	陽性反応適中度(%)
H29	19.2	100,570	3.4	77.2	10.5	12.4	0.02	0.6
H30	18.1	94,986	3.3	76.8	9.5	13.8	0.03	0.8
R1	18.4	96,654	3.5	74.7	5.9	19.4	0.02	0.6
R2	16.0	83,612	3.4	70.7	4.4	24.9	0.02	0.7

# 3 コロナ下における山梨県のがん検診

## 新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響について

(R3年度の受診者数は山梨県が調査した速報値であり、地域保健・健康増進事業報告に基づいた確定値でない)

### ○ 受診者数への影響 (※1 本資料では、2年連続の受診者も計上)

	受診者数(人) (受診率)				受診者数の減少率		
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	H30→R1	R1→R2	R1→R3
胃がん検診 50～69歳、2年ごと※1	19,987 (13.0%)	19,179 (11.4%)	14,165 (10.2%)	18,439 (10.9%)	△4.0%	△26.1%	<u>△3.9%</u>
大腸がん検診 40～69歳、1年ごと	50,343 (14.6%)	48,660 (14.3%)	39,017 (11.7%)	44,023 (13.3%)	△3.3%	△19.8%	<u>△9.5%</u>
乳がん検診 40～69歳、2年ごと※1	26,897 (25.2%)	25,384 (24.8%)	20,044 (22.8%)	22,009 (22.0%)	△5.6%	△21.0%	<u>△13.3%</u>
子宮頸がん検診 20～69歳、2年ごと※1	34,091 (19.7%)	30,293 (19.3%)	28,369 (18.5%)	22,875 (19.2%)	△11.1%	△6.4%	※2
肺がん検診 40～69歳、1年ごと	55,783 (16.2%)	53,819 (15.8%)	42,826 (12.8%)	48,492 (14.7%)	△3.5%	△20.4%	<u>△9.9%</u>

令和2年度の受診者数、R1→R2の増減率については、地域保健・健康増進事業報告による確定値に修正したため、令和3年度に示した資料と数値が異なる。

※2 子宮頸がん検診については、R3年度から統一運用を開始し、全市町村において指針に基づく年齢、間隔で検診が実施されたことにより対象者が減少した影響を受けるため、受診者数の減少率(R1→R3)は未算出。

- 大きく受診者が減少したR2年度と比べ、R3年度の受診者数は回復している。

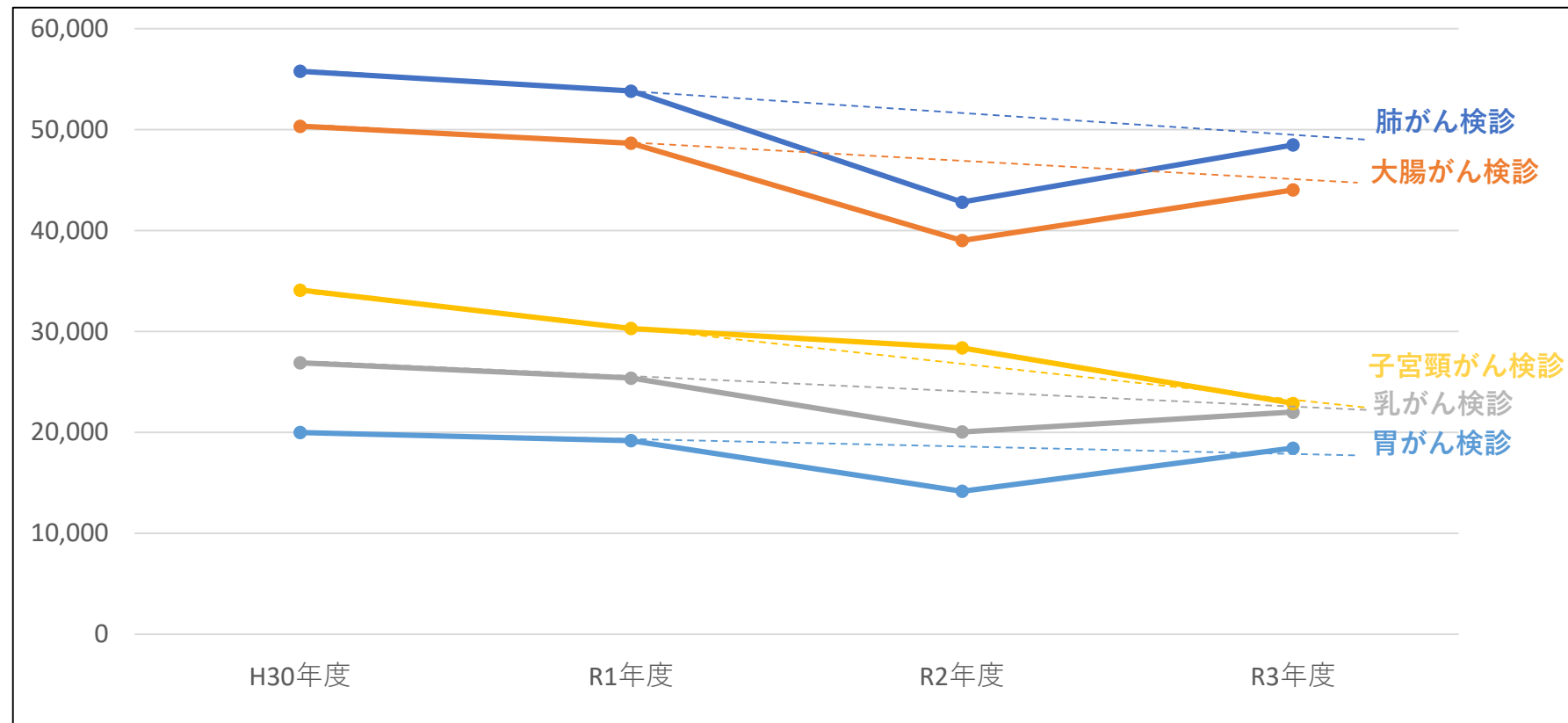
(胃がん、乳がん、子宮頸がん検診の受診率は、2年間の受診者数を使用するため、当該年度の受診者数が増えても受診率は増加しない場合がある。)

# 4 コロナ下における山梨県のがん検診

## 新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響について

(R3年度の受診者数は山梨県が調査した速報値であり、地域保健・健康増進事業報告に基づいた確定値でない)

### ○ 受診者数への影響



※点線は、「H30年度からR1年度の減少傾向が翌年度以降も継続した」と仮定した場合の受診者数を表す。

- R3年度の受診者数は、H30年度からR1年度の減少傾向が続いた場合の想定受診者数(点線のグラフ)とほぼ変わらないことから、新型コロナウイルス感染症による市町村がん検診への影響は、ほぼ解消されたと思慮される。